

関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	現代社会，倫理，世界史，日本史
教科書	初めての法律学・HとJの物語（松井茂記ほか、有斐閣）
補助教材等	法学六法（石川明ほか、信山社）
学習上の留意点	
<p>日本は法の支配する立憲国家である。日本における様々な制度の背景には法が存在し、これらの制度が我々の生活を支えている。法学を学習する際には、我々の生活と法が密接な関係にあることを念頭に置く必要がある。成績については、年4回の中間・期末試験に加え、講義の際に行う小テストの結果を総合的に評価する。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>上述のように、法と我々の生活は、非常に関係の深いものです。講義の中でも様々な判例を取り上げますが、日ごろのニュースなどを見て、そのニュースの背景に、いかなる法、いかなる制度が存在するのかを考えてみてください。</p>	

授 業 の 明 細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	法とは何か—法学の基礎知識 1	シラバスの趣旨を理解できる。法が社会規範の一つであることを理解する。	シラバスを確認する
2	法とは何か—法学の基礎知識 2	法の分類について理解する。	配布資料をよく読む
3	刑法 1 犯罪と刑罰	日本における刑罰の種類をすべて把握する。	配布資料をよく読む
4	刑法 2 構成要件	犯罪成立要件のうち、構成要件該当性（実行行為、因果関係）について理解する。	教科書と配布資料をよく読む
5	刑法 3 違法性	犯罪成立要件のうち、違法性（違法性阻却事由、被害者の同意）について理解する。	教科書と配布資料をよく読む
6	刑法 4 責任	犯罪成立要件のうち、責任（責任能力、故意・過失）について理解する	教科書と配布資料をよく読む
7	刑法 5 共犯	犯罪が複数人で行われた場合や、犯罪行為が行われたが結果が発生しなかった場合など、特殊な事案があることを理解する	過去の配布資料等を確認し、中間試験に備える
8	中間試験		
9	刑事訴訟法 1 刑事手続きの流れ	刑事訴訟の大まかな流れを把握する	教科書と配布資料をよく読む
10	刑事訴訟法 2 被疑者・被告人の人權	憲法における人身の自由として、被疑者・被告人の権利が保障されていることを理解する	教科書と配布資料をよく読む
11	裁判の仕組み 1	民事訴訟と刑事訴訟の違いを理解する	教科書と配布資料をよく読む
12	裁判の仕組み 2	裁判制度や裁判所の管轄、裁判の基準について理解する。	教科書と配布資料をよく読む
13	刑事法の現代的課題	少年犯罪や自動車事故等における厳罰化の傾向と、その問題点について理解する	教科書と配布資料をよく読む。過去の配布資料等を確認し、期末試験に備える
14	裁判員について	裁判員制度のビデオを視聴し、日本における裁判員制度について理解する	配布資料をよく読む。過去の配布資料等を確認し、期末試験に備える
前期末試験			
15	答案返却・解説	試験の解説により、自分の間違っていたところを確認する。	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	民法 1	公法と私法の違い、民法における「人」と刑法における「人」の違いを理解する。	教科書と配布資料をよく読む
17	民法 2 不法行為	犯罪の行為者が、民事訴訟でどのように扱われるのかを理解する。	教科書と配布資料をよく読む
18	民法 3 契約	我々が「契約」という法律行為を日常的に行っていることを理解し、その種類や成立要件について把握する。	教科書と配布資料をよく読む
19	民法 3 契約	我々が日常的に行っている契約について、その種類や成立要件について理解する。	教科書と配布資料をよく読む
20	民法 4 家族	法律上の家族はどのようにして形成されるのかを理解する。	教科書と配布資料をよく読む
21	民法 4 家族	家族であることによって生じる権利と義務、家族が死亡したときの相続について理解する。	教科書と配布資料をよく読む
22	中間試験		
23	憲法 1 憲法の意義	日本をはじめとした世界各国で、なぜ憲法が制定されてきたのか、その歴史的背景を理解する。	教科書と配布資料をよく読む
24	憲法 1 憲法の意義	日本国憲法の基本原理について正しく理解する。	教科書と配布資料をよく読む
25	憲法 2 統治機構	国家の仕組み、権力分立について理解する。	教科書と配布資料をよく読む
26	憲法 3 基本的人権	基本的人権の大まかな分類、及び包括的人権について理解する。	教科書と配布資料をよく読む
27	憲法 3 基本的人権	自由権の意味と種類を理解する。憲法上の規定がない、新しい人権が主張されていることを理解する。	教科書と配布資料をよく読む
28	憲法 3 基本的人権	社会権の意味と種類を理解する。また、憲法が国民の義務についても規定していることを把握する。	教科書と配布資料をよく読む
29	試験前のまとめ		過去の配布資料等を確認し、期末試験に備える
学年末試験			
30	答案返却・解説	試験の解説により、自分の間違っていたところを確認する。	
総 学 習 時 間 数			90 時間
講 義			60 時間
自学自習			30 時間